

# 長崎 検定

## 一級 さん

Vol.35

### はじまりは“長崎愛” 田中哲也 さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。  
その卓越した識見には、なにやら一家言ありそつです。  
ざっくばらんに寄稿願いました。

今から遡ること8年前、平成20年の秋、知人数人と居酒屋で酒を飲んでいた時の話である。その中の一人が、おもむろに長崎検定2級の合格証を見せてくれたのがすべての始まりとなった。

その人は長崎市出身ではなく、住んだこともなく、自分の趣味の一つとして検定を取得したものだ。だが同時に「オイはなんばしよつとや!!」という嫉妬にも似た感情がわいてきたのである。

私は、郊外ではあるが長崎市内で生まれ育ち、長崎のことが好きだし、少なくともこの人よりは「長崎愛」を持っていてという自信はあった。そう思うと自分の長崎人としての血が騒ぎ出し、自分も受験しなければという強い意志が芽生えたのである。

それから早速テキストを買い勉強を始めたのであるが、始めてみると本当に知らないことばかり、わかるのはそれこそ方言ぐらいだった。しかしこの狭い長崎の中に、多種多様な歴史や文化が広く存在していることを知り、改めて長崎の奥深さを

痛感するとともにますます長崎の魅力にハマっていったのである。

勉強のいかいあって検定2級に合格すると、そこで私の目的は達成され無事終了となった。当時は1級受験などという大それた考えは持つておらず、2級合格で満足していた。ただ、新たに自分の心の中には『この長崎の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい』という思いと、『覚えた知識を少しでも忘れないようにしなければ』という2つの思いが強くなってきたのである。

そしてこの両方の思いを解決する方法としてたどり着いたのが「長崎さるくガイド」になるという選択だったのである。ガイドになればテキストではなく実際に現地で知識を得られるし、お客様に長崎の魅力を伝えることもできる。

最良の方法を見つけた私は、ガイド研修を受講し、晴れてガイドとなり現在に至っている。

検定1級を目指すようになったのは、ガイド歴も5年を迎えたころ、今後ガイドとしてスキルアップを図っていくためには、やはり1級合格は避けて通れないと考え始めたからで、もちろんガ

イドに検定取得の義務はなく、単なる自己満足の世界になってしまふのだが、自分の最終目標として取り組んでみようと思ひ、今回、何とか3回目のチャレンジで合格することができたのである。

思えば、単なる飲み会での「長崎愛」から始まり、検定2級で終わる予定が、まさかのガイドになり、そして検定1級に合格するところまで来てしまった。8年前には本当に全く想像もつかなかったことである。1級に合格したからといってガイドのやり方が変わるわけではないが、1級合格者としての自覚を持ち、これからも精進しながら多くの方に長崎の魅力を伝え、長崎が好きなが「長崎ファン」を少しでも増やすべくガイドを続けていきたい。



#### 【プロフィール】

1964年8月11日生まれ  
長崎市田中町出身  
仕事で県内の職場を転々と異動しており、現在は諫早市内に勤務、居住しているが、「長崎愛」は変わることなく、休日に「さるくガイド」に行くことが楽しみのひとつになっている